

日本物理学会ダイバーシティ推進委員会活動報告

日本物理学会

(齊藤 準・帯広畜産大学・jsaito@obihiro.ac.jp

小林 夏野・北海道大学・kayakobayashi@es.hokudai.ac.jp

成木 恵・京都大学・m.naruki@scphys.kyoto-u.ac.jp

濱口 幸一・東京大学・hamaguchi@phys.s.u-tokyo.ac.jp

馬場 彩・東京大学・bamba@phys.s.u-tokyo.ac.jp

宮島 顕祐・東京理科大学・miyajima@rs.tus.ac.jp)

Recent Activities of Diversity, Equity, & Inclusion Committee in the Physical Society of Japan

The Physical Society of Japan

(Jun SAITO, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, jsaito@obihiro.ac.jp

Kaya KOBAYASHI, Hokkaido University, kayakobayashi@es.hokudai.ac.jp

Megumi NARUKI, Kyoto University, m.naruki@scphys.kyoto-u.ac.jp

Koichi HAMAGUCHI, University of Tokyo, hamaguchi@phys.s.u-tokyo.ac.jp

Aya BAMBA, University of Tokyo, bamba@phys.s.u-tokyo.ac.jp

Kensuke MIYAJIMA, Tokyo University of Science, miyajima@rs.tus.ac.jp)

Abstract: We report on the recent activities of the Diversity, Equity, & Inclusion Committee, in the Physical Society of Japan (JPS). The 6th (2025) Fumiko Yonezawa Memorial Award was given to three winners. As an educational activity, the committee members have joined summer camps for junior-high and high-school girls.

日本物理学会は1946年に設立された。現在の会員数は約15,000人である。会員の女性比率は増加してきたものの、現在も6~7%程度であり、世界的に見て低い。2002年7月に発足した男女共同参画推進委員会は、2023年1月よりダイバーシティ推進委員会と名称を改め、物理学において女性はもとよりさまざまな研究者の多様性を尊重し、各人が能力を発揮できるための活動を行っている。以下、この1年間の主な活動を報告する。

【1】米沢富美子記念賞 第6回受賞者決定

本会では女性会員の活躍を讃え奨励するため、2019年度に米沢富美子記念賞を設立し、毎年の受賞者を年次大会で表彰している。2025年度は第6回受賞者として、女性会員3名を表彰した。

【2】次世代教育支援

2005年度より本学会員を「女子中高生夏の学校」に実行委員および企画担当委員として派遣している。今年度は対面形式で8月9-11日の3日間開催され、本委員会委員等が実験やポスターの企画に参加した。また、2006年度より継続的に支援している「女子中高生のための関西科学塾」は、2021年度からは賛助会員として協賛している。今

年度も7月27日のA日程より開催されている。

【3】学協会連絡会活動

本シンポジウムをはじめ、運営委員会や各WG等の活動に正式加盟学協会として参加している。

【4】国際交流

10月20日に開催されるThe 16th Asia Pacific Physics Conferenceの特別セッションWomen in Physicsに、委員長、副委員長および参加者として本委員会委員が参画し、発表を予定している。

【5】年次大会での託児室の開設

本会では毎年秋に年次大会を開催しており、約5,000名の研究者が参加している。期間中は託児室を設置し、希望者は事前申込みにより誰でも利用できる。利用者数は増加傾向にある。

【6】年次大会でのミーティング開催

年次大会にて本委員会主催のミーティングを開催してきた。今年度は9月17日にランチョンミーティング「アンコンシャスバイアスとその解消に向けて」を開催し、参加者による意見交換を行う。

【7】広報活動

会員メールや物理学会誌、委員会HP等で随時情報提供や活動報告を行っている。